

研究 成 果 報 告 書

(国立情報学研究所の民間助成研究成果概要データベース・登録原稿)

研究テーマ (和文) AB		離島における環境経済政策プログラムの構築－資源・交通・金融の視点から－			
研究テーマ (欧文) AZ		Planning of Environmental Policy on Island Economy － From Perspectives of Resource, Transport, and Regional Finance －			
研究氏 代 表 名 者	カナ CC	姓) ハヤシ	名) トシヒコ	研究期間 B	2003 ～ 2005 年
	漢字 CB	林	敏彦	報告年度 YR	2005年
	ローマ字 CZ	HAYASHI	TOSHIHIKO	研究機関名	放送大学
研究代表者 CD 所属機関・職名		放送大学 教授			
<p>概要 EA (600字～800字程度にまとめてください。)</p> <p>都市における生活の豊かさと、都市型経済とは大きく異なる離島地域における生活の豊かさとは、明らかに別の次元で捉える性質を持つ。</p> <p>従来の経済学体系においては、実質所得の相対的レベルや地域生産性・地域経済の波及度と言った観点から地域市場を分析する方法が主であるが、本研究においては表面上の経済統計データには表れてこない実質的な地域経済の豊かさに着目することによって都市型経済を基盤とする価値観との違いを分析することを研究目的とした。</p> <p>離島経済には経済的に見た場合、本土（とりわけ都市型）経済とは全く異なる構造体系を持っている点が多く見受けられる。</p> <p>一般認識として受けとめられているこれらの要因を、ひとつひとつ精緻に現状分析し、なおかつ詳細なデータを収集することにより厳密な経済モデル分析へと発展させることが、本研究の使命であり社会への還元であると考えている。</p> <p>これらの目的意識に立ち、具体的にはまず都市型生活者と離島生活者におけるアンケートによってデータ収集を行った上で比較データ解析を行い、さらには各政策項目別に離島金融・離島交通・リサイクル問題・エネルギー問題・および情報化に関する分析を行う。</p> <p>これらの個別課題を各専門家が分析した上で、離島経済全体の構造をシステム的な視点から再把握し、その上で最終的な形として政策提言をまとめることを最終目的とする。</p> <p>本助成期間内では、従来の屋久島、奄美大島に続き、主に八重山諸島において、金融政策、エネルギー政策、ごみ問題、交通環境政策について、フィールド調査を行い、地域金融整備を通じて社会的厚生拡大に寄与する事業主体に対する支援を行うことによる地域環境整備の効果を分析。地域金融を中心とする地域マネーの媒介効果を通じて、交通環境政策・エネルギー環境政策・資源リサイクル政策の3チャンネルを通じた環境波及効果の分析を行った。</p> <p>本研究は、引き続き他の離島についても調査・分析を継続する。</p>					
キーワード FA	離島経済	金融政策	ごみ問題	交通環境政策	

(以下は記入しないでください。)

助成財団コード TA					研究課題番号 AA								
研究機関番号 AC					シート番号								

発表文献（この研究を発表した雑誌・図書について記入してください。）										
雑誌	論文標題GB	奄美群島における交通政策に関する基礎研究 －持続可能な基盤整備のあり方に関する考察－								
	著者名 GA	新井圭太	雑誌名 GC	高崎経済大学経済学会ワーキングペーパー						
	ページ GF	～	発行年 GE	2	0	0	5	巻号 GD	No. 1	
雑誌	論文標題GB	離島地域における社会資本蓄積の経済効果に関する基礎研究 －沖縄県島嶼地域における振興事業の現状に関して－								
	著者名 GA	新井圭太	雑誌名 GC	高崎経済大学経済学会ワーキングペーパー						
	ページ GF	～	発行年 GE	2	0	0	5	巻号 GD	No. 2	
雑誌	論文標題GB	離島地域における運輸基盤整備の現状と交通社会資本のストック推計 －沖縄県島嶼地域における社会資本蓄積効果の考察－								
	著者名 GA	新井圭太	雑誌名 GC	高崎経済大学経済学会ワーキングペーパー						
	ページ GF	～	発行年 GE	2	0	0	5	巻号 GD	No. 3	
雑誌	論文標題GB	沖縄県離島地域における交通社会資本生産性の推計 －地域基盤整備の政策評価に関するモデル分析－								
	著者名 GA	新井圭太	雑誌名 GC	高崎経済大学経済学会ワーキングペーパー						
	ページ GF	～	発行年 GE	2	0	0	5	巻号 GD	No. 4	
図書	著者名 HA	坂田裕輔 他共著								
	書名 HC	『奄美と開発』								
	出版者 HB	南方新社	発行年 HD	2	0	0	4	総ページ HE	3 2 2	

欧文概要 EZ

Regional economy has been analyzed by both a comparative observation with urban economy and an empirical research on productivity within the neo-classical framework. Those analyses are quite important; however, the economy in isolated island does not fit to traditional approach since circumstance of the regional market in island area is much different from that of urban area. The gap might be derived from geographical distance and historical background.

Due to the context described above, we focused upon researching a real condition of the island economy at first. We have researched Yakushima, Amami-islands, and Yaeyama-islands so far. To be concrete, we have analyzed island economy from perspective of financial policy, energy policy, transport policy, and an environmental policy.

In planning respective policies on island economy, regional finance plays a quite significant role as an economic center of the region. Regional system of the finance in the island economy; however, may be considered to be less developed. Since private banking system does not exist in rural island area, public sector has played a role as a financial contributor so far. Transport system, energetic system, and industrial system have been developed through the governmental assistance by the public finance. Our point is that public assistance should be reduced and substituted by the private finance so that private economy grows to a greater degree.